

安全・安心を守る

SAFETY



1 内水氾濫対策を進めています

県内では、令和3年までの4年連続で、大雨特別警報が発表される災害が発生しています。
特に令和3年8月豪雨では、令和元年佐賀豪雨と同じ場所で大内水氾濫が起き、県内各地に大きな被害をもたらしました。
このため、県では、被害を軽減し、二度と同様の被害とならないよう、内水対策プロジェクト(プロジェクト「F」)を立ち上げ、内水氾濫対策に特に力を入れて取り組んでいます。



令和3年8月豪雨時の内水氾濫状況(武雄市内)



消防防災ヘリコプター「かちどき」による人命救助



浚渫後の祇園川(小城市)



導入した排水ポンプ車(ファイブスターズ)

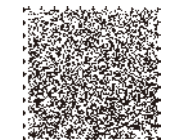
被害の軽減や、各機関との情報共有と連携を目指し、浸水の状況を把握するカメラ・浸水センサーなどの設置や、排水ポンプ車の導入、ダム貯留機能の強化や田んぼダムの推進、河川の浚渫※2などに取り組んでいます。

その他、今年度中には焼米ため池(武雄市)の緊急放流ゲートの新設や、排水機場の耐水化などの機能向上も行っていく予定です。今後、これらの取組に限らず、中長期的な取組も進め、大雨災害時の被害軽減に努めていきます。

※1/プロジェクト「F」とは、「Inland Water Flooding(内水氾濫)」を略称したものであり、「仮に「方」が「こ」という趣旨での「if」とかけ合わせた造語
※2/流水の阻害となっている河川内の堆積土砂を取り除くこと

★ お問い合わせ先

- ①【内水氾濫対策】 危機管理防災課 ☎0952-25-7362 ✉kikikanribousai@pref.saga.lg.jp
農山漁村課 ☎0952-25-7125 ✉nousangyoson@pref.saga.lg.jp
河川砂防課 ☎0952-25-7161 ✉kasensabou@pref.saga.lg.jp



2 佐賀県独自の新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染症対策では、行政と医療の連携チームで実施する「プロジェクトM」において、救急医療や通常医療の医療環境を守りながら、陽性者の症状に合わせた療養を行えるよう、入院治療のための病床の確保、隔離療養のための宿泊療養施設の確保及び自宅療養者の支援体制づくりに取り組んできました。今後も、医療現場がひっ迫することなく、安心して治療・療養ができる医療提供体制を維持できるように対応していきます。

また、ワクチン接種については、県が運用を行っている消防防災ヘリコプター「かちどき」を活用し、医療提供体制などに制約



消防防災ヘリコプター「かちどき」を活用し、医療従事者を派遣(小川島)

がある離島の全住民への接種や市町の取組を支援するための大規模接種会場の設置など、機動的かつ柔軟に取組を進めてきました。引き続き、医療関係者、市町、県が一体となって、希望される県民の方々への円滑なワクチン接種を進めていきます。

新型コロナウイルス感染症と診断された方へ

<https://www.pref.saga.lg.jp/list05373.html>



新型コロナワクチン接種について

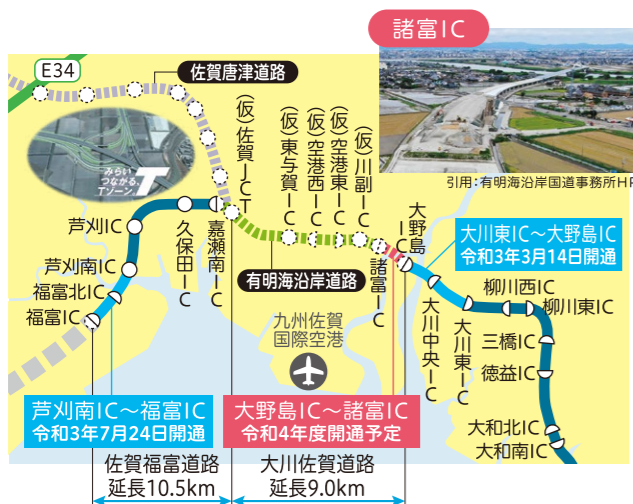
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00379899/index.html>



3 「広域幹線道路」でつながる佐賀のみらい

有明海沿岸道路や佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号など、県内各地に道路網が広がっており、より早く、安全に、快適に道路を利用できるようになることで、人、モノ、地域の交流促進が期待されています。

今年度は、有明海沿岸道路の諸富ICまでの開通を予定しており、これにより、

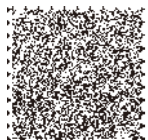


芦刈南IC~福富IC開通式

佐賀県と福岡県が有明海沿岸道路で繋がります。また、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続する「Tゾーン」の整備も着々と進み、完成すれば九州佐賀国際空港や佐賀県医療センター好生館などの広域的なアクセスが飛躍的に向上することになります。今後、広域幹線道路の整備を進め、地域の発展と県民のくらしを支える基盤づくりに努めていきます。

★ お問い合わせ先

- ②【新型コロナウイルス感染症対策】 医務課 ☎0952-25-7481 ✉imu@pref.saga.lg.jp
新型コロナウイルスワクチン接種調整チーム ☎0952-25-7584 ✉kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp
- ③【広域幹線道路】 道路課 ☎0952-25-7156 ✉douro@pref.saga.lg.jp



4 交通事故のない 安全な佐賀県へ

全国的にみても、佐賀県の人身交通事故の人口10万人あたりの発生件数は多くなっています。

県では、県民一人ひとりが「交通事故ゼロ」を自らの課題として認識し、交通安全の意識を高めてもらうため、デザインの手によって行動変容を促す「SAGA BLUE PROJECT」を展開してきました。



よかろうもん運転根絶広報動画お披露目式



ランドセルカバー贈呈式

呼びかけ、交通事故を減らし、安全で安心な佐賀県の実現を目指します。

今年度は、若者や高齢者の事故防止をテーマに、危険なスマホ使用運転をはじめめとする「よかろうもん運転の根絶」や「ハンドサイン横断」などを

5 地域での生活に、 必要な医療を

高齢化に伴い医療需要が増える中、誰もが安心して医療サービスを受けることができるよう、県では、医師の育成と県内定着を推進する「SAGA DOCTORSプロジェクト」を進めています。

近年、地域の診療所の医師も高齢化が進み、近い将来、身近な医療を受けられない地域が出てくることが予測されるため、



プロジェクトの一環で、市町と連携し、地域の医療機関に医師を派遣する仕組みを構築します。

まずは唐津市をモデルケースとして、佐賀県医療センター好生館が確保・育成する医師を「唐津市民病院きたはた」に派遣し、中山間地域などで必要な一次医療が提供される体制をつくります。

その後、段階的に支援を必要とする地域に取組を広げていくことで、県内全域において、安心できる医療提供体制づくりを進めていきます。

★ お問い合わせ先

- ④ 【SAGA BLUE PROJECT】 暮らしの安全安心課 交通事故防止特別対策室 ☎0952-25-7060 ✉ kurashianzen@pref.saga.lg.jp
SAGA BLUE PROJECT URL <https://saga-blueproject.jp>
警察本部 交通企画課 ☎0952-24-1111(代表)
交通安全に関するお知らせ(県警) URL <https://www.police.pref.saga.jp/koutsu.html>
- ⑤ 【SAGA Doctor-Sプロジェクト】 医務課 医療人材政策室 ☎0952-25-7358 ✉ imu@pref.saga.lg.jp

